

会員拡大委員会

委員長 山崎 大輔

【基本方針】

今年51年目を迎え、時代の変化を捉えながら次の半世紀をスタートするこだま青年会議所においての最重要課題は会員拡大です。卒業生数に対し、新入会員数が追いついておらず年を追うごとに会員減少が進んでいる傾向にあります。40歳という年齢制限がある中で、「未来を見据えた拡大」を達成し、未来のこだまJCの繁栄も視野に入れ、青年会議所としての目的・意義・知識を持ち、長く活躍していただく為には年齢も考えた拡大が必要です。運動は同志が多い程、こだま地域に対してメッセージの発信力が増します。私が拡大委員長として率先して動き、各会員にも当事者意識を持っていただき、対内外に交流の場を設け、JCの魅力を伝えることが出来れば拡大は十分に可能であると考えます。多くの仲間と議論を交わすことで、人が人を磨き、自己の成長へと繋げ、そしてその活動を通してできる仲間こそがJCの最大の魅力だと私は考えます。

LOM全体を巻き込み、協力して日本青年会議所の34%以上拡大率達成LOM賞の受賞を目指します。まずは、会員拡大の統括をするために、2カ月に一度の拡大協議会を開催して全会員に会員拡大の重要性を発信し、建設的な情報交換・アタックリストの作成を行います。またOBを講師として呼びし、お話いただく事で意識向上を図ります。また、拡大委員会で広報の役目も担い、アタックリストから事業案内・活動報告等、年5回の対外広報誌のメール配信、例会案内・活動風景などSNSの更新を図り、魅力を発信し、拡大に繋がります。新入会員へのアフターフォローも怠らず常に目を配り、懇親会、例会、委員会への参加を促します。

2月例会ではこだま青年会議所の魅力を伝え、存在意義を理解していただきながら、より多くの拡大対象者と交流、アタックリストの充実を図る為の他団体交流事業を開催します。お互い

の団体のPRをしつつ親睦を深め、横のつながりとして参加者にメリットを見出して頂けるよう心がけます。委員長を務めさせて頂くにあたり、時代の変化に対応した拡大として自分なりの何か新しい試みに挑戦したいと考え、参加者リストからSNSで繋がる働き、また広報誌のメール配信を行い、こだまJCをPRしながら、その後の会員拡大に繋げていきます。

12月例会の卒業式では、卒業生に今までのJC運動を振り返り、JCの魅力を再度感じていただく設えを作ります。敬意と感謝を伝えると共に、在籍年数に関わらず達成感を感じて卒業して頂きたいと考えます。そして最後には感動と笑いをもって次世代にバトンを渡して頂きます。

30 次世代を担う新入会員と共に例会を構築する中で、JCとしての経験値を互いに向上させます。

歴史あるこだま青年会議所を次の世代に繋げ、会員一人ひとりが資質の向上を行い成長することで、強固な組織となり、明るい豊かなこだまの創造へと繋がると確信します。一年間よろしくお願い致します。

35

【事業計画】

- 1, 2月例会の開催
- 2, 12月例会の開催
- 3, 拡大協議会の開催
- 40 4, 会員拡大40名以上・拡大褒賞の受賞
- 5, 対外広報誌の発行

【事業予算】

250,000円